

【コマ(パッキン)の交換方法】

❗ 止水栓を止めてから作業を行ってください。

交換の際は市販のコマ(パッキン)をお求めください。

◆ パッキン  直径14ミリ
コマ用パッキン(水栓13用)

【お手入れ時のご注意】

- 吐水口部が詰まると吐水量が少なくなったり、温度調整ができなくなるなどの十分な機能が発揮されなくなりますので、ときどき吐水口部を掃除してください。掃除を行う際は、吐水口部をはずして、網目や穴に詰まったゴミをブラシなどで取り除いてください。
- 水栓の清掃は、乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。それでも落ちないときは、水ぶきし最後からぶきしてください。
- 研磨剤入りのクレンザー等は、本体表面を傷つける恐れがあるため使用しないでください。
- シンナー、ベンジン、ワックス、石油、塩素系溶剤等は使用しないでください。

【故障かな?と思ったら】

故障したときの修理は、水道工事店にお問い合わせください。

なお、修理を依頼する前に、次表を確認して点検を行ってください。

症状	点検項目
吐水量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 止水栓は全開にされていますか。 ・ 吐水口の目詰まりはありませんか。(【お手入れ時のご注意】参照)
止水できない	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハンドルは全閉になっていますか。

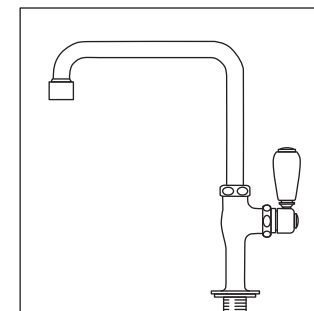
プレーンフォーセット ベントネック

取付・取扱説明書

施工後は本書を、お施主様にお渡しください。

【施工上のご注意】

- 取り付け工事は水道工事店にて行ってください。
- 本体は確実に垂直・水平に施工してください。



【使用上のご注意】

- ❗ ○ 冬季凍結の恐れのある日には、器具の破損防止のため、蛇口や水栓柱を毛布やゴロ布で巻き、上からビニールなどをかぶせてください。凍結防止となり蛇口や給水管の破損を軽減します。また、少量の水(1分間に牛乳瓶1本程度)を出しっ放しにしておく「流動方式」や、不凍栓の設置による蛇口・給水管の水抜きを行う等、地域や気候に応じた凍結防止対策を行ってください。(技術的なことは水道工事店にご相談ください。)
- ハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起こす恐れがありますので、ゆっくり操作してください。家財等を濡らす恐れがあります。
- 専門業者以外の方は分解したり、修理・改造は行わないでください。ケガや故障・破損の原因となります。
- 水道水以外では使用しないでください。機能低下や破損の原因となります。

【蛇口の取付け方法】

【蛇口取付前の準備】

❗ 止水栓を閉めてから作業を行ってください。

配管内のゴミを取り除くために、1分程度勢いよく通水(フラッシング)を行ってください。

⚠ 配管内のゴミが残っているとパッキンを傷つけ、水漏れの原因になります。

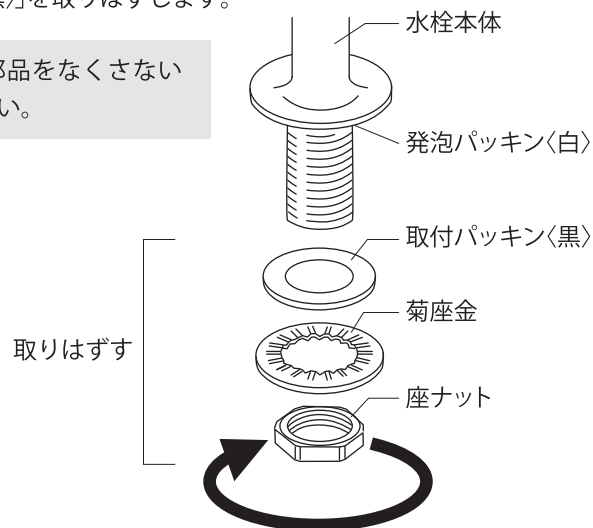
【蛇口を交換する場合】

❗ 止水栓を閉めてから作業を行ってください。

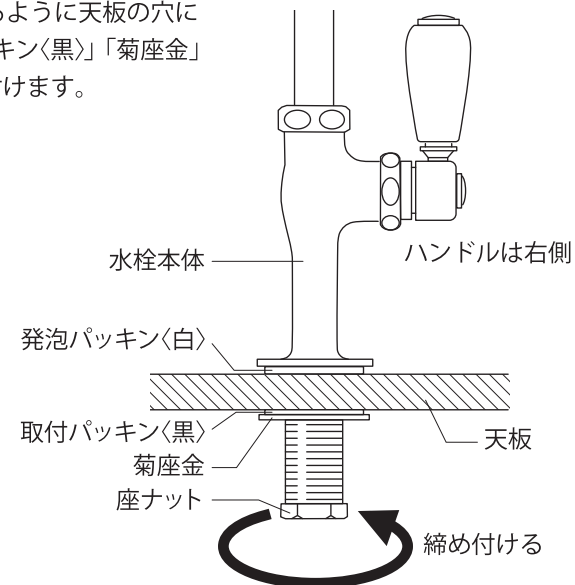
蛇口を交換する場合は、古い蛇口を左に回してはずします。

❶ 水栓に取り付けてある「座ナット」のネジを回し、「菊座金」「取付パッキン<黒>」を取りはずします。

⚠ 取りはずす際は、部品をなくさないようにご注意ください。



❷ 本体をハンドルが右側になるように天板の穴に差し込み、下から「取付パッキン<黒>」「菊座金」を入れ、「座ナット」で締め付けます。



❸ 本体とフレキ管(別途)を接続します。本体とフレキ管(別途)の間には、パッキン(別途/フレキ管付属)を必ず使用してください。

❗ 通水して水漏れがないことを確認してください。

※フレキ管以外をご使用する場合、接続する給水部品に合わせた止水処理を行ってください。

